

令和7年度 世田谷区若年性認知症講演会

若年性認知症の方への支援に関する実態調査 調査結果報告



世田谷区認知症在宅生活サポートセンター



Sectiono

調査目的

世田谷区内における若年性認知症の人への支援の現状と課題の把握

期間

令和 7 年
9月11日～30日

対象

介護支援専門員
(区内在勤)

回答

Googleフォーム
FAX



介護支援専門員の状況(n=113)

小規模多機能型・看護小
規模多機能型居宅介護，
8件，7%



居宅介護支援事業所，
105件，93%

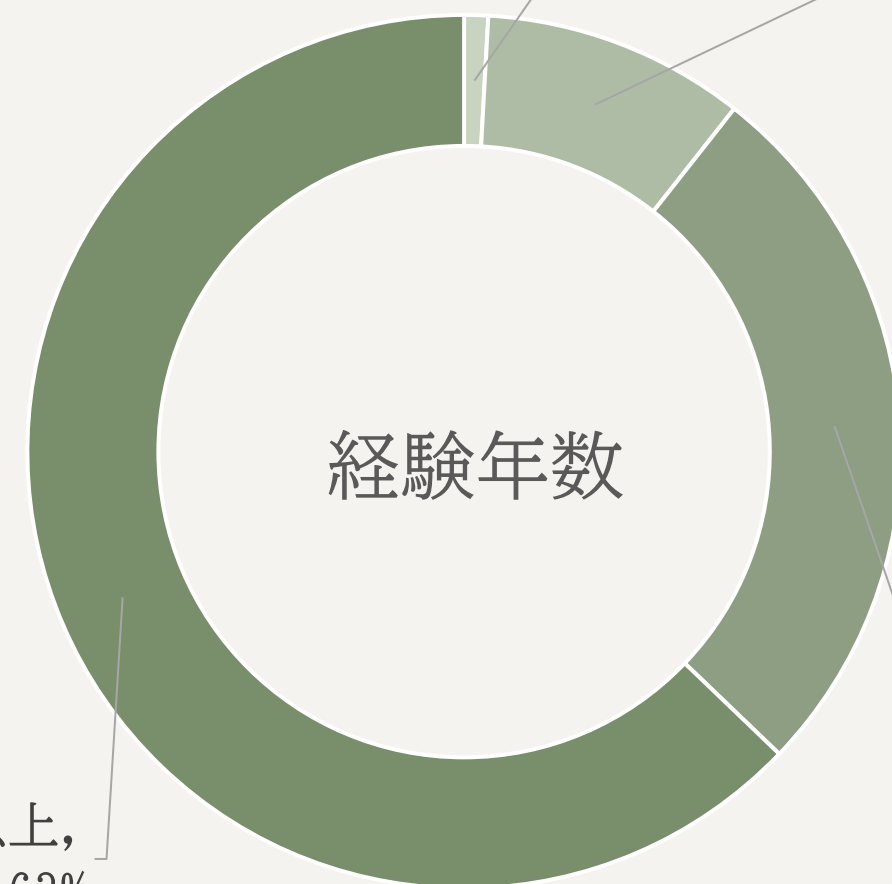
1年未満，
1件，1%

1～3年，
11件，10%

経験年数

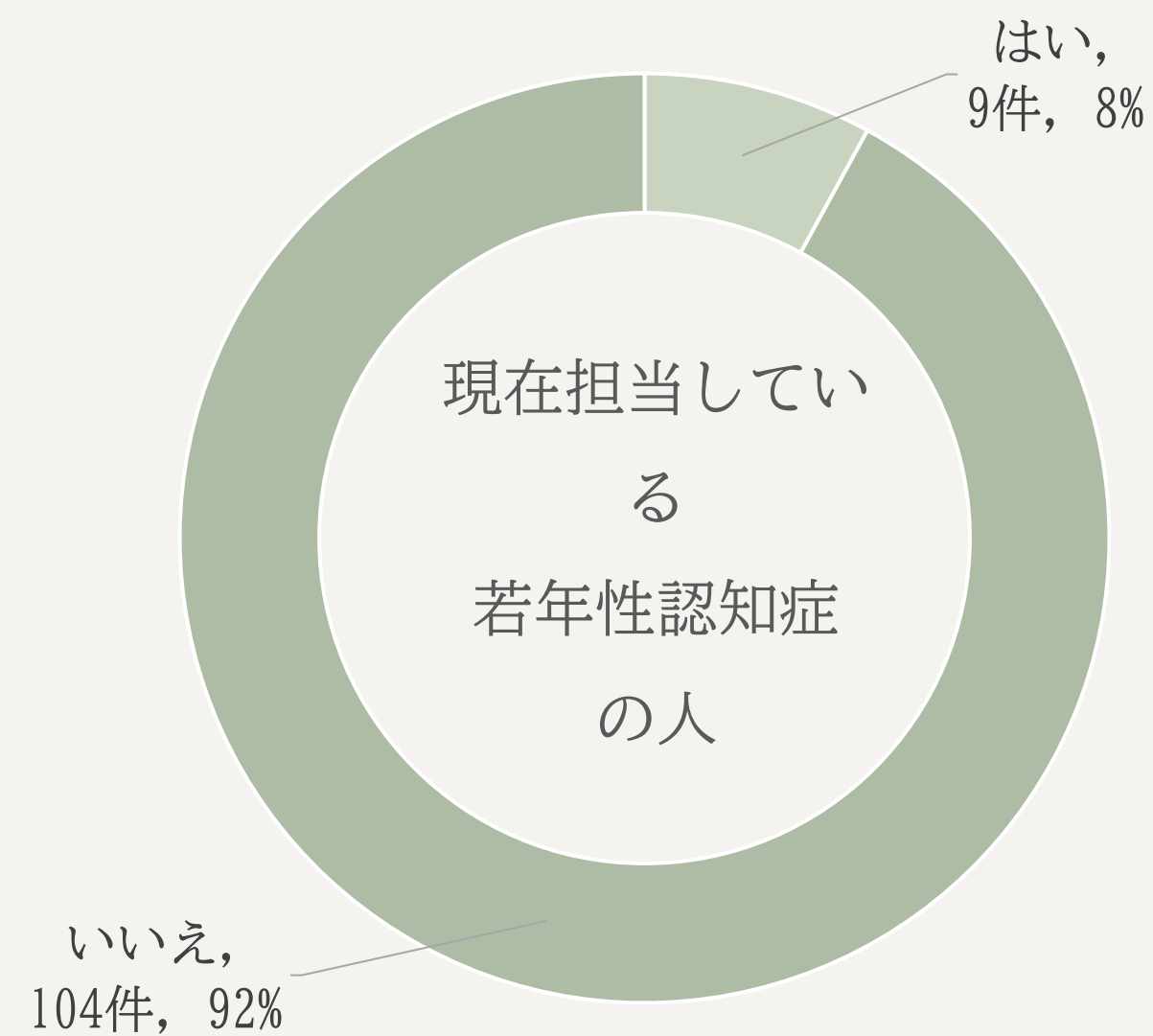
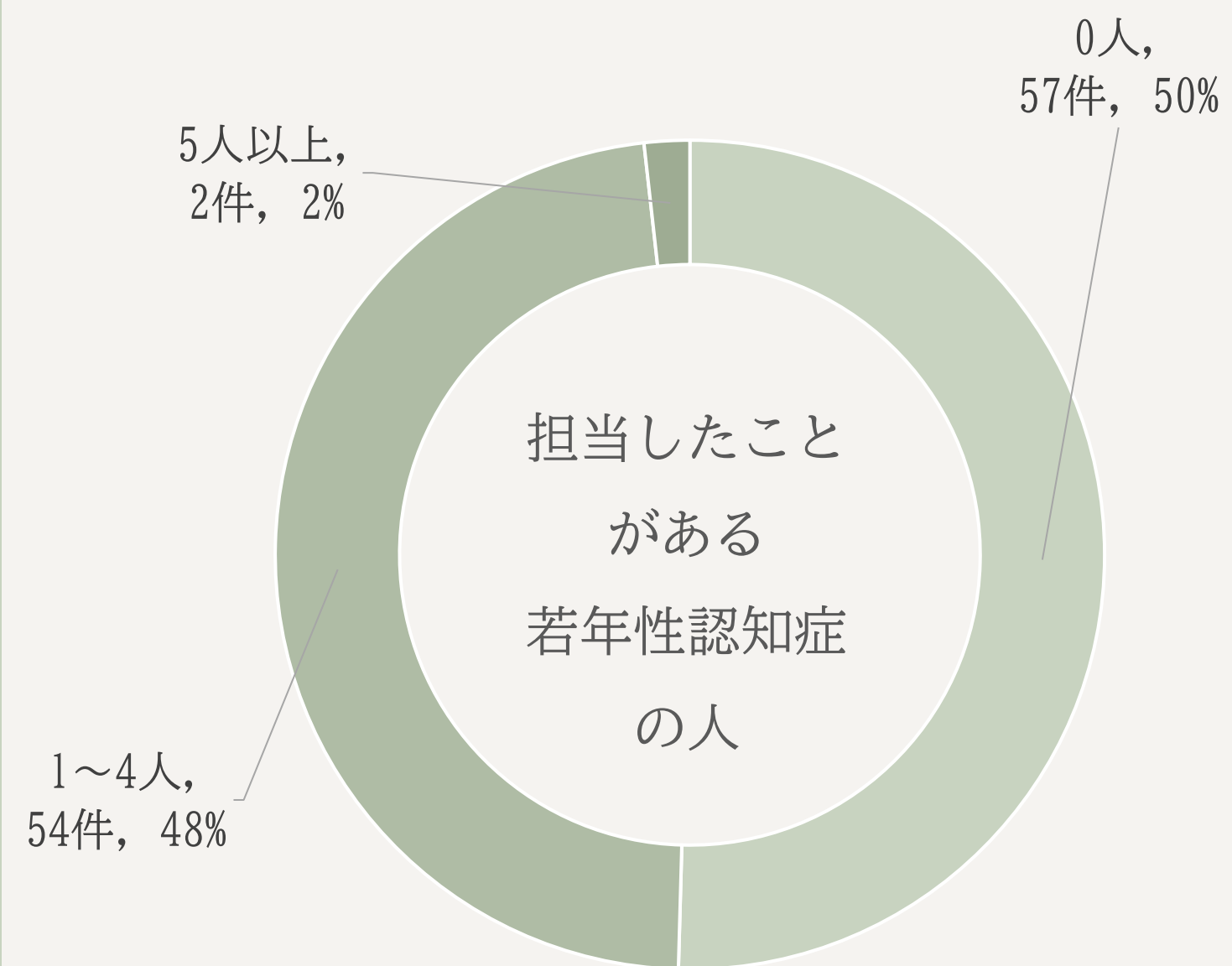
4～9年，
30件，26%

10年以上，
71件，63%





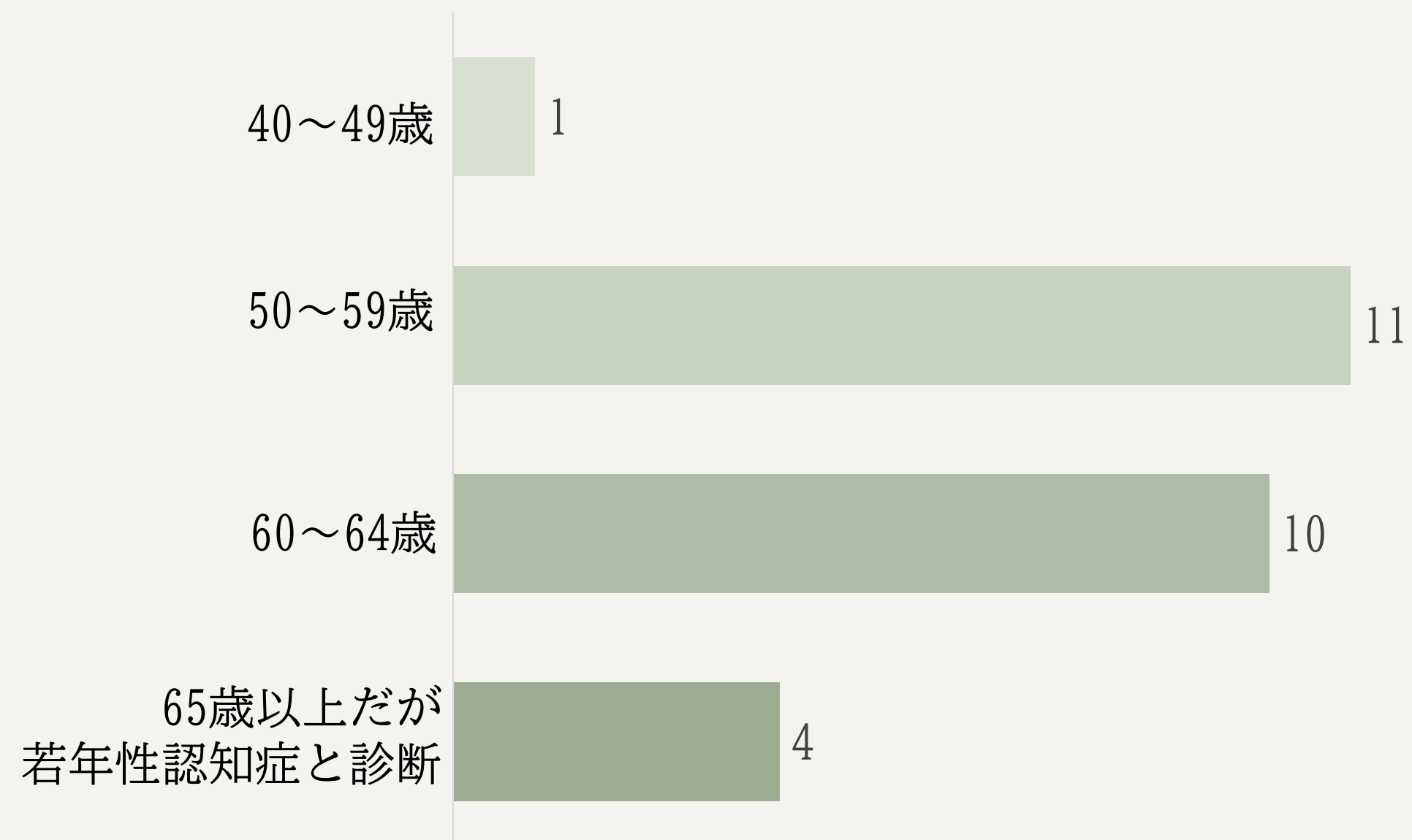
若年性認知症の人の支援状況（n=113）





若年性認知症の人の支援状況

これまで担当した方の年齢層 (n=26)

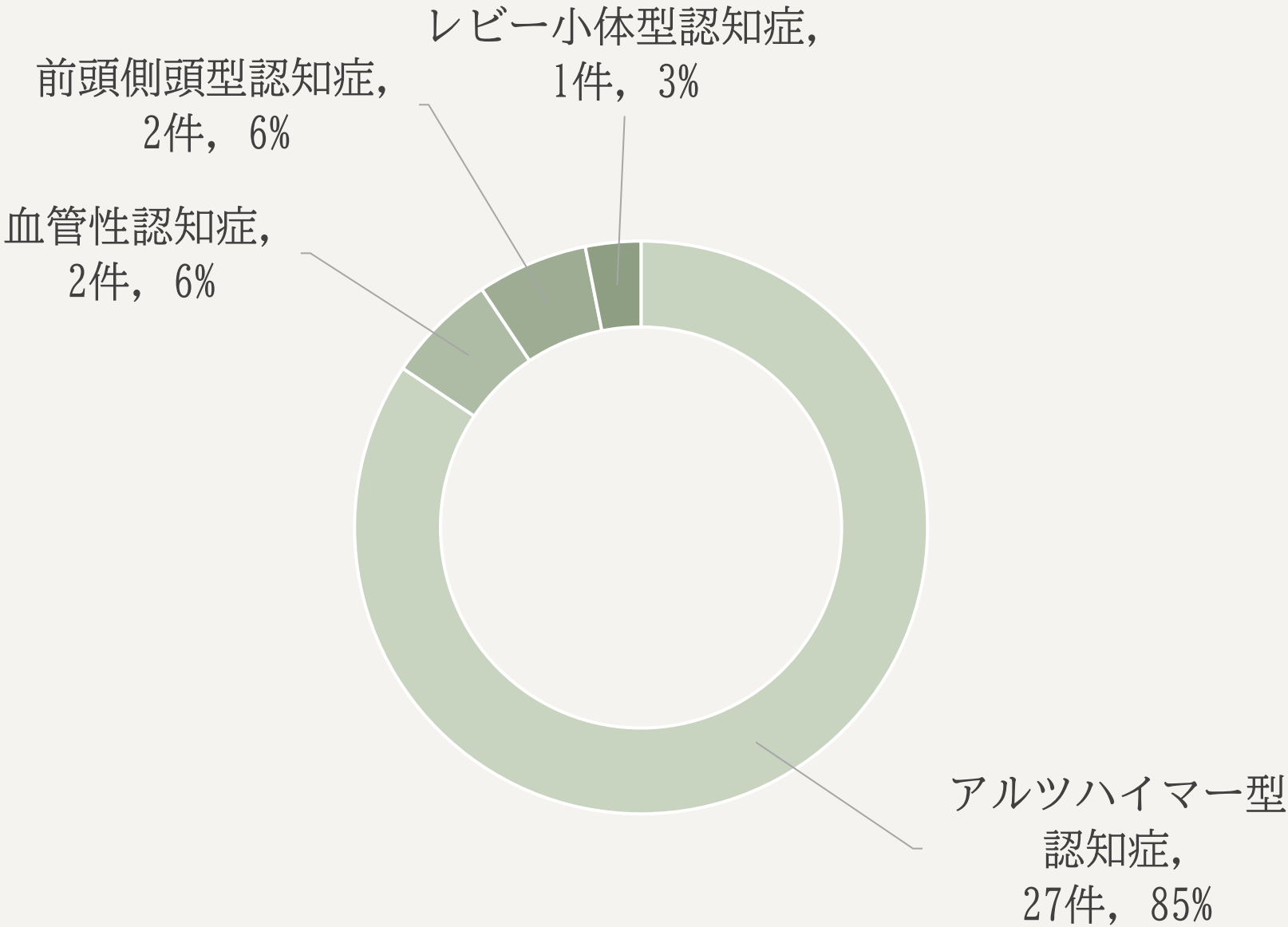




若年性認知症の人の支援状況

主な診断名【複数回答】（n=32）

アルツハイマー型認知症	27
血管性認知症	2
前頭側頭型認知症	2
レビー小体型認知症	1
合計	32

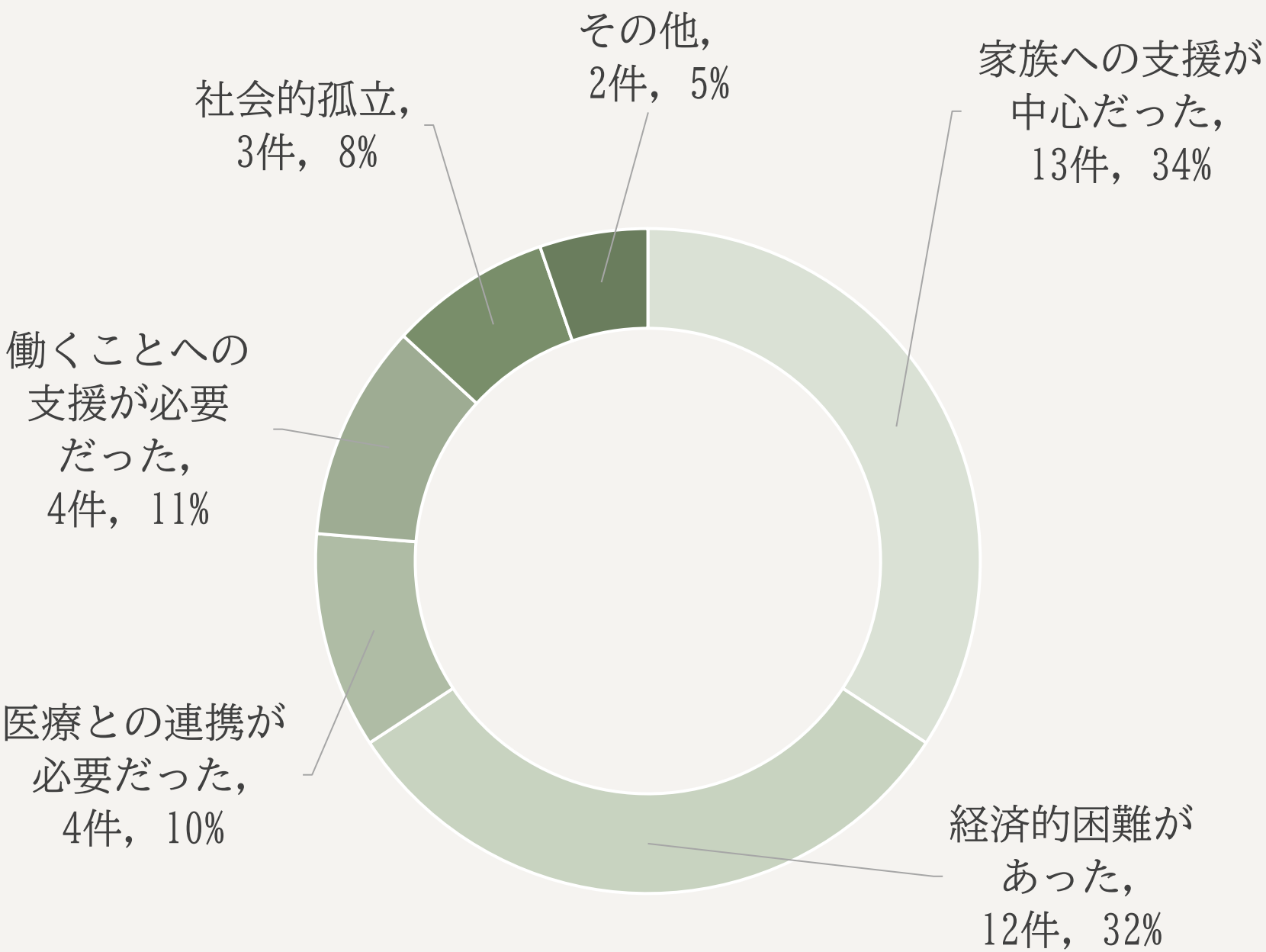




若年性認知症の人の支援状況

主な生活課題【複数回答】（n=38）

家族への支援が中心だった	13
経済的困難があった	12
医療との連携が必要だった	4
働くことへの支援が必要だった	4
社会的孤立	3
その他	2
合計	38

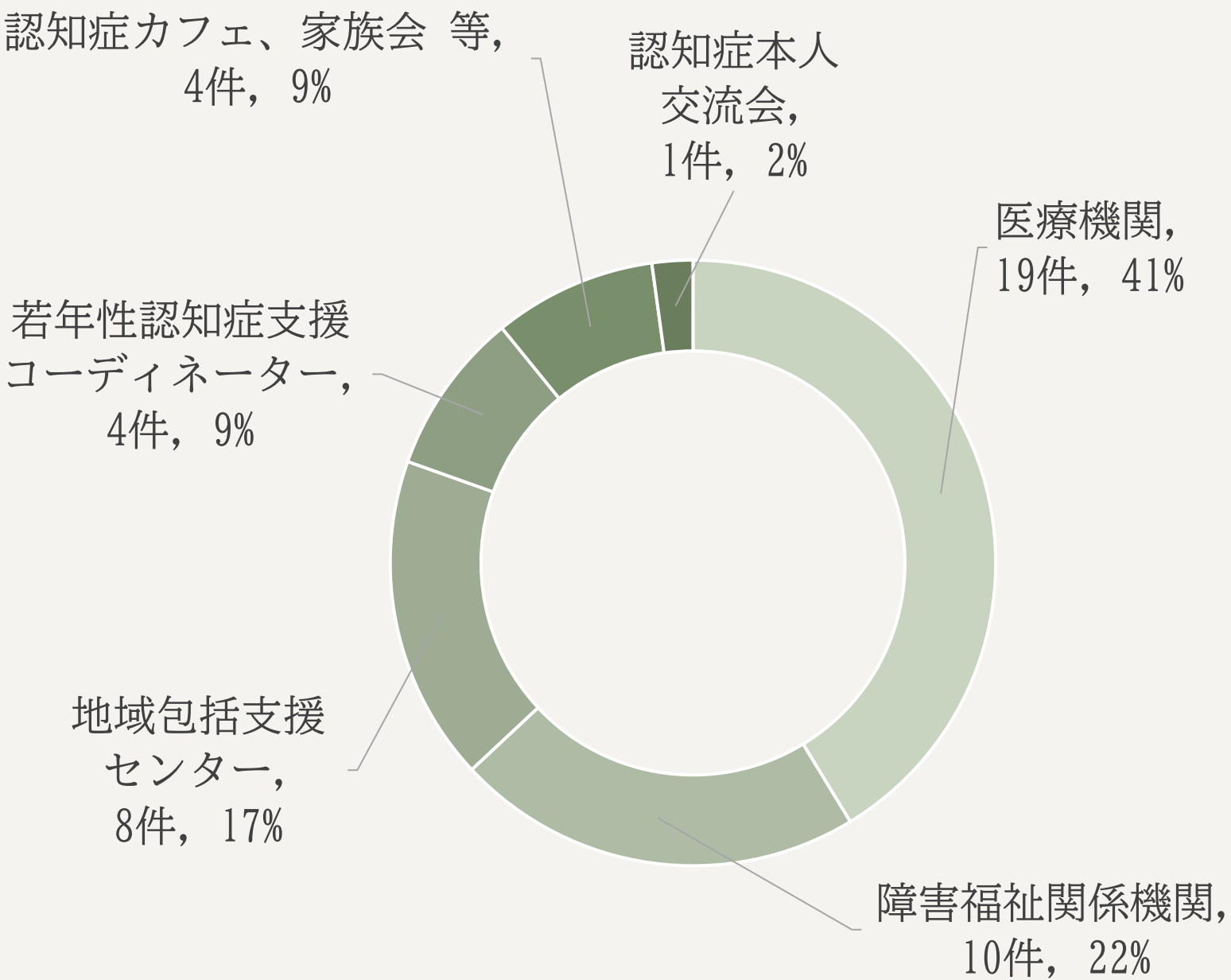




若年性認知症の人の支援状況

主な連携先【複数回答】（n=46）

医療機関	19
障害福祉関係機関	10
地域包括支援センター(あんしんすこやかセンター)	8
若年性認知症支援コーディネーター	4
認知症カフェ、家族会 等	4
認知症本人交流会	1
ハローワーク	0
その他	0
合計	46

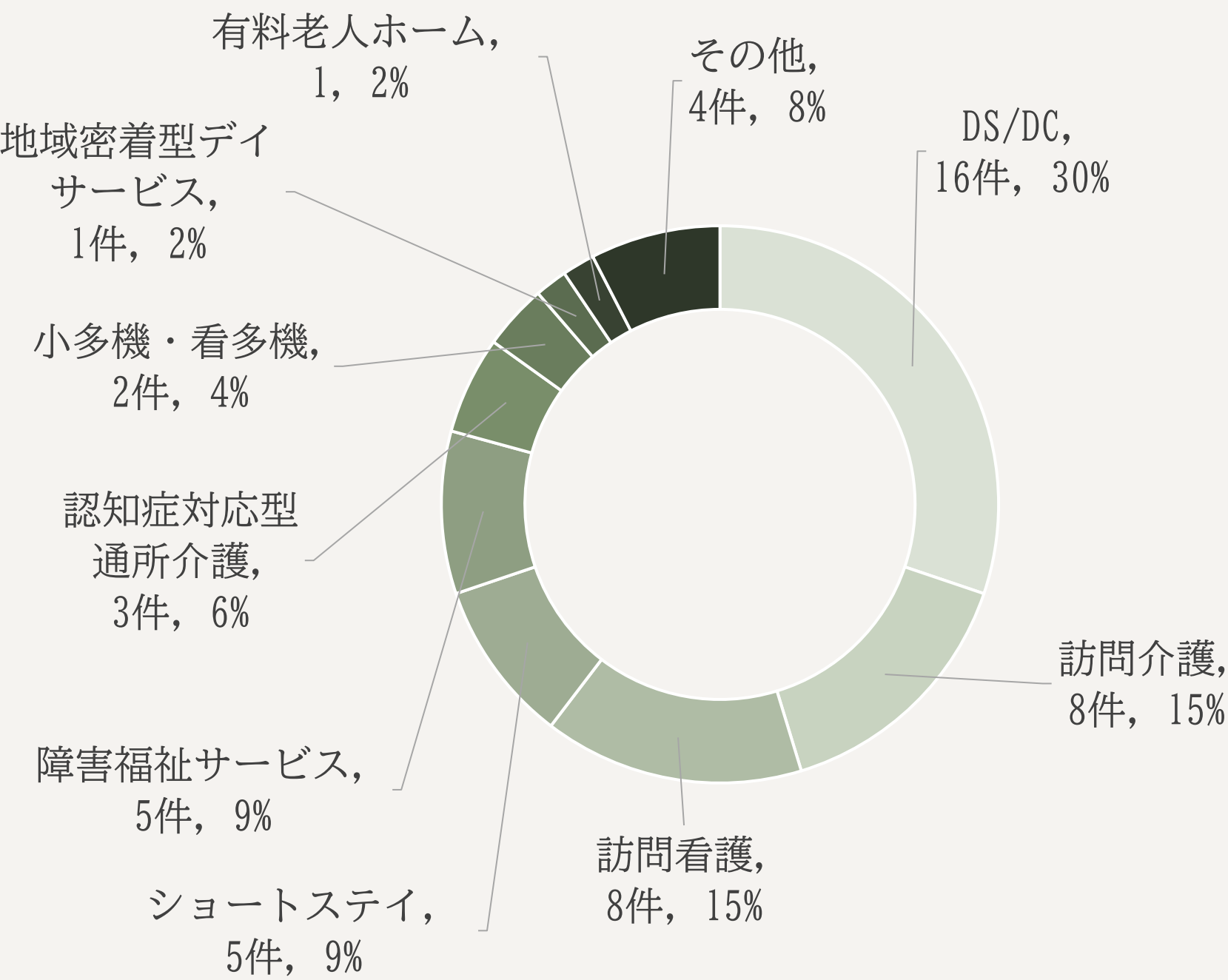




若年性認知症の人の支援状況

利用した主なサービス（n=37）

デイサービス/デイケア	16
訪問介護	8
訪問看護	8
ショートステイ	5
障害福祉サービス	5
認知症対応型通所介護	3
小多機・看多機	2
地域密着型デイサービス	1
有料老人ホーム	1
その他	4
合計	37

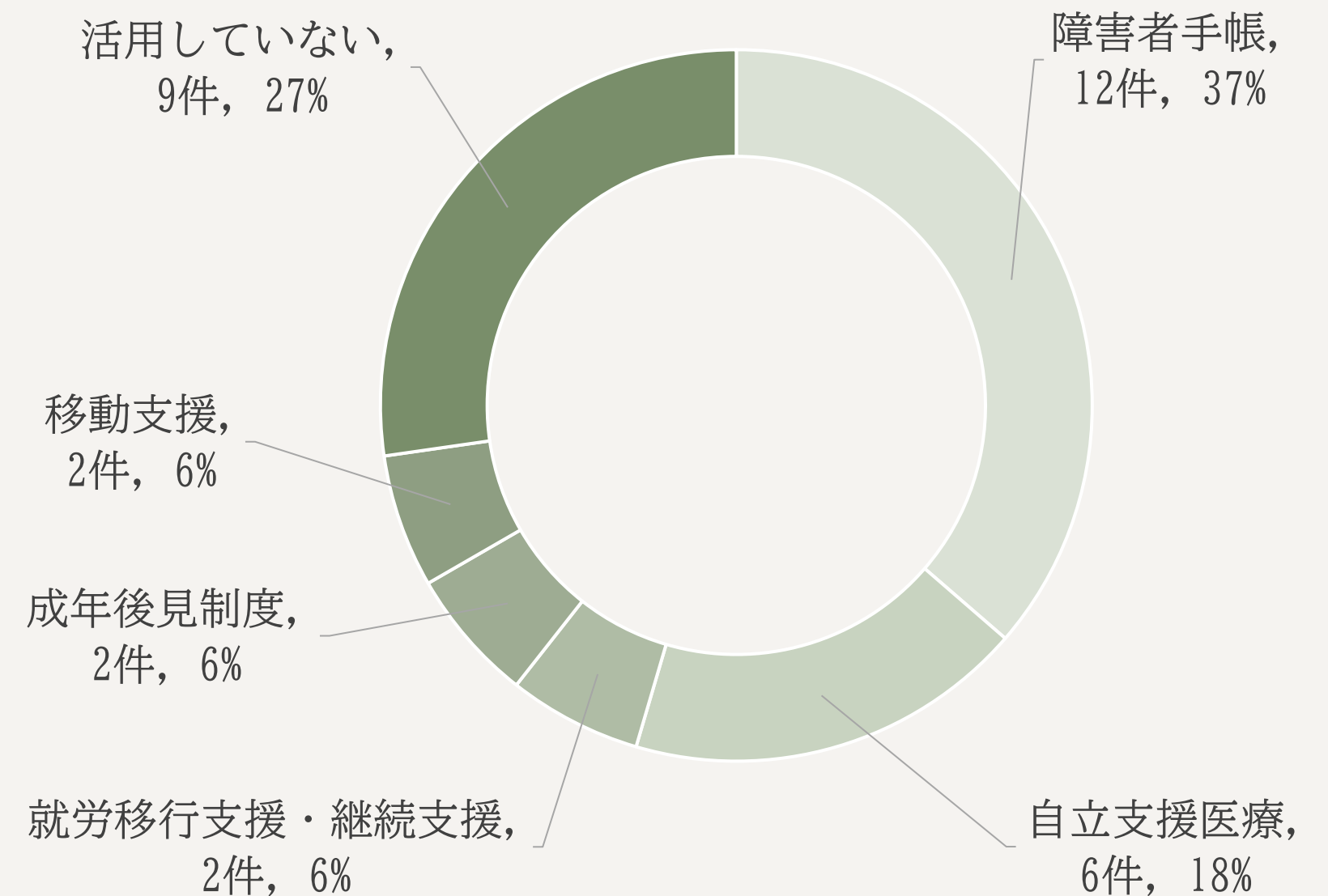




若年性認知症の人の支援状況

介護保険以外で活用した制度 【複数回答有】（n=33）

障害者手帳（身体、精神）	12
自立支援医療	6
就労移行支援・継続支援	2
成年後見制度	2
移動支援	2
活用していない	9
合計	33

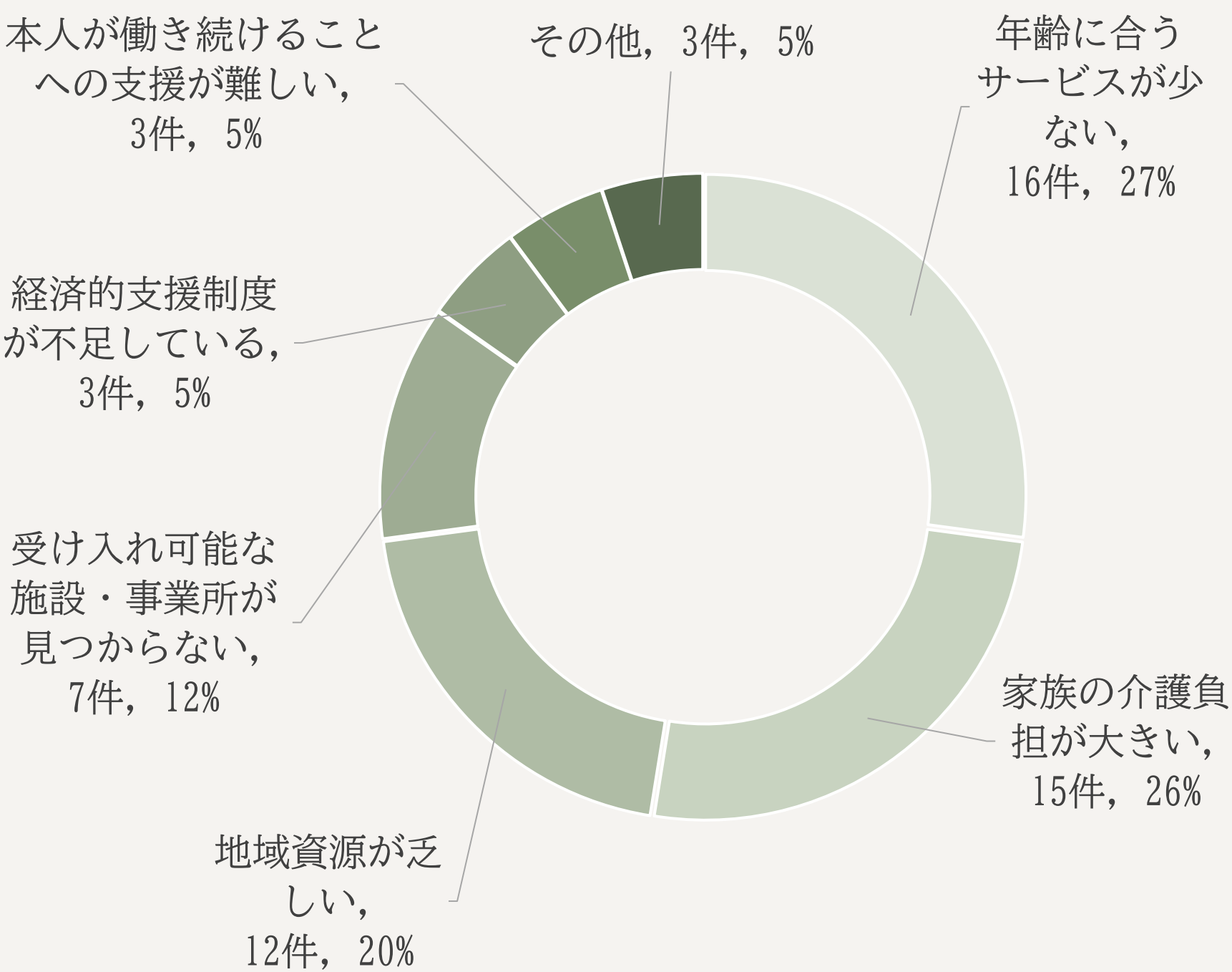




若年性認知症の人の支援状況

支援において感じた課題【複数回答】（n=59）

年齢に合うサービスが少ない	16
家族の介護負担が大きい	15
地域資源が乏しい	12
受け入れ可能な施設・事業所が見つからない	7
経済的支援制度が不足している	3
本人が働き続けることへの支援が難しい	3
その他	3
合計	59

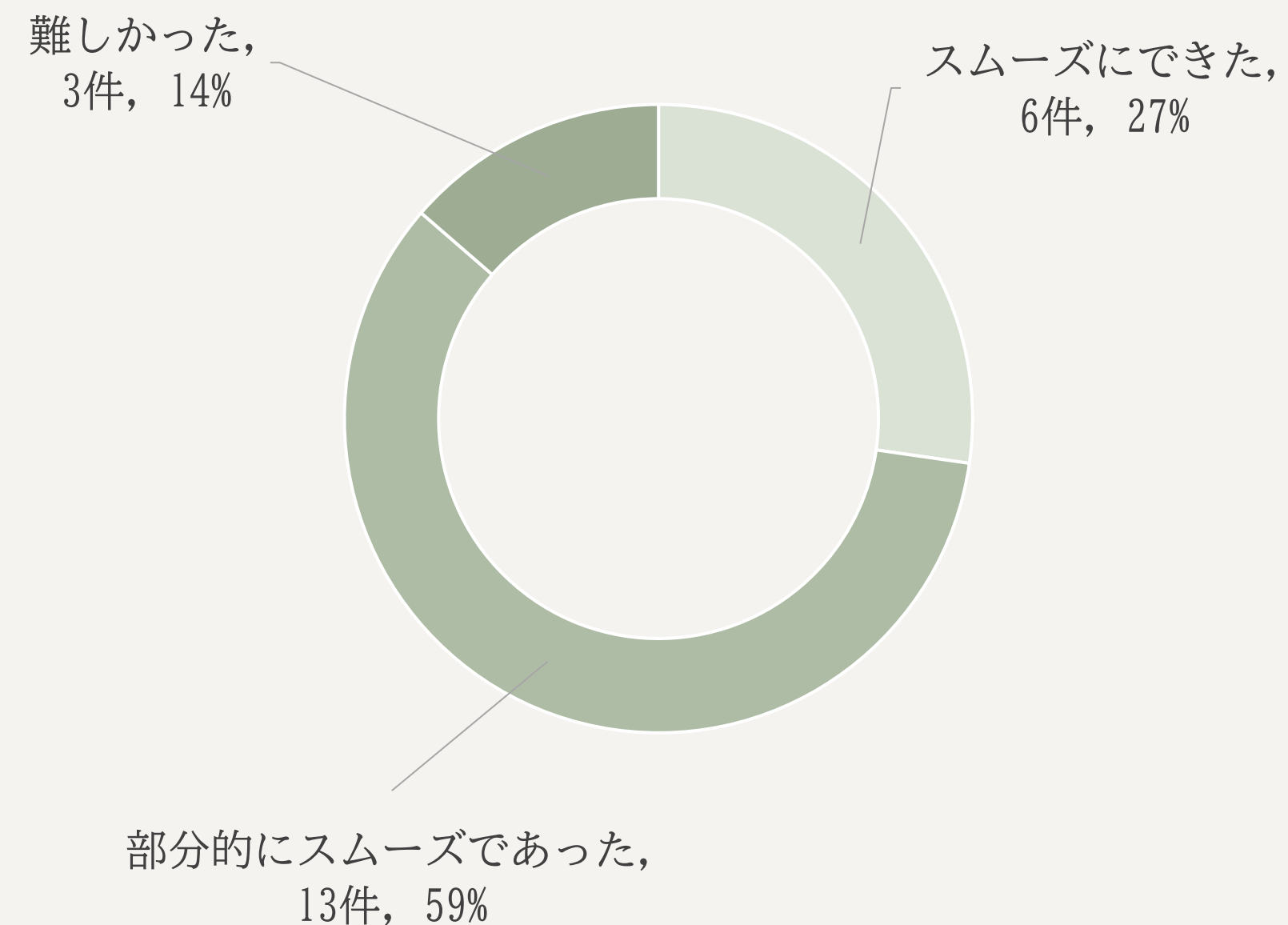




若年性認知症の人の支援状況

他職種・他機関との連携(n=22)

スムーズにできた	6
部分的にスムーズであった	13
難しかった	3
合計	22

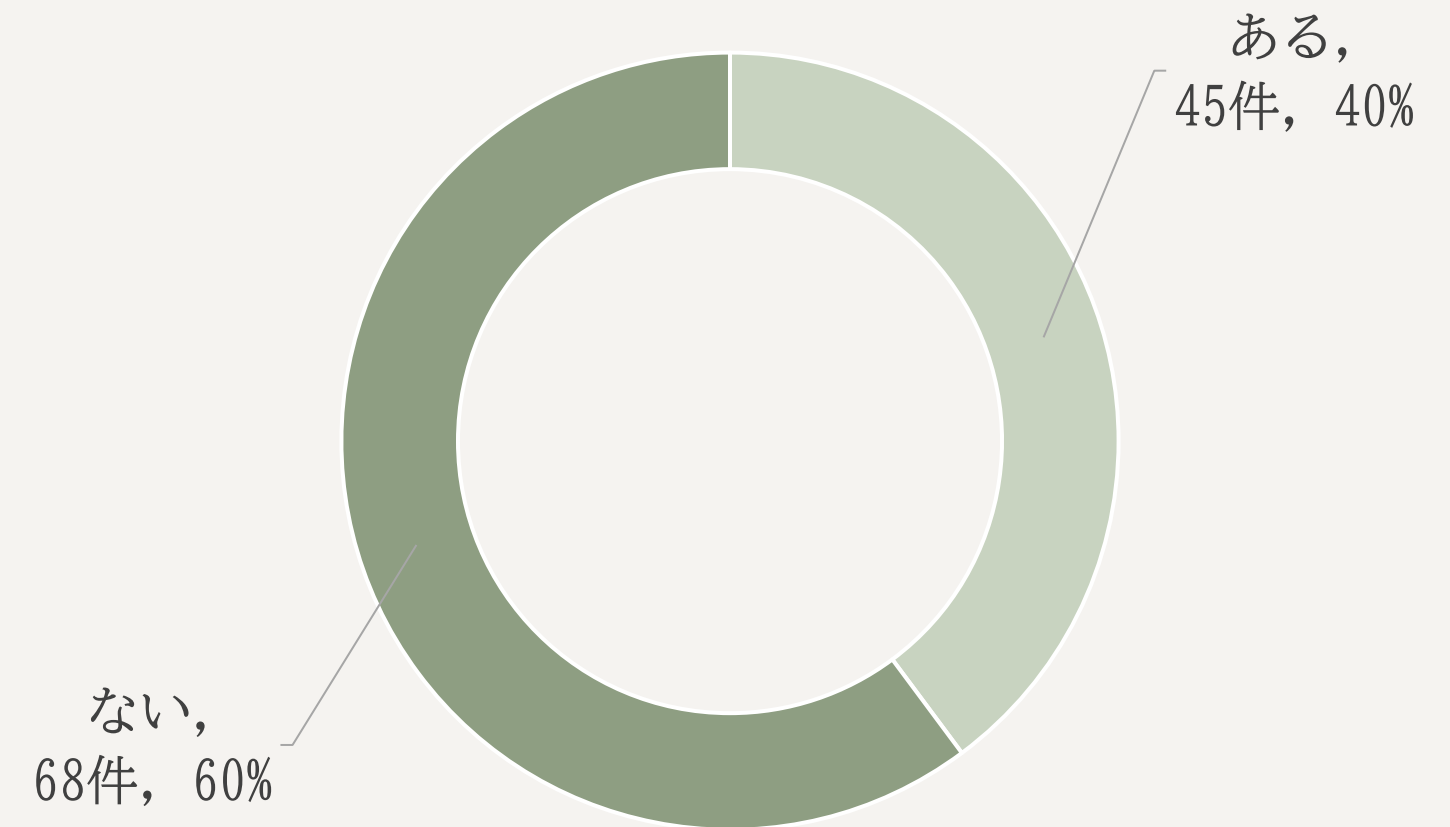




若年性認知症の人の支援状況

研修・講演会への参加（n=113）

ある	45
ない	68
合計	113





支援に必要だと思う情報や制度（自由記載）

1働く場・生きがいの場の確保	<ul style="list-style-type: none">・当事者にあった仕事ができる仕事場が必要・症状に応じて働く場所、生きがいの場の確保・高齢者向けではなく若年性認知症の人が社会参加できる場を増やしてほしい・若い人が違和感なく通えるデイサービスがあるとよいと思う
2若年性認知症に特化したサービス・制度の不足	<ul style="list-style-type: none">・若年性認知症特化型デイサービスや障害福祉サービスの充実が必要・高齢者認知症と同じ介護サービスでは対応できない・65歳を過ぎると利用できなくなる制度の壁がある・若年性に特化したサービスが少なく、送迎がないなど課題がある
3情報共有・相談・ネットワーク構築	<ul style="list-style-type: none">・若年性認知症の人や支援者が情報共有できる場が欲しい・本人や家族がアクセスしやすい情報提供や仲間づくりの資源が必要・支援について相談できる場所が欲しい・区内の支援内容や効果を把握したい
4社会の理解と地域の受け入れ体制	<ul style="list-style-type: none">・社会的孤立にならないようリアルな交流の場が必要・地域社会の受け入れ体制づくりや一般市民への理解促進が必要・教育現場での認知症理解が将来的に重要・本人を取り巻く人々の理解が必要



支援に必要だと思う情報や制度（自由記載）

5 支援人材・組織体制の充実	<ul style="list-style-type: none">・ 支援を継続できる人材と組織の確保が必要・ 若年性認知症支援に特化した研修が求められる・ 介護・障害分野の相互理解を深める学びの機会・ 専門知識を持つ相談員が少ない
6 制度・経済的支援	<ul style="list-style-type: none">・ 就労継続支援や経済的支援が必要・ 障害者年金や愛の手帳の情報提供・ 安心して利用できる生活保護制度・ 若年層にも医療・生活費補助が必要
7 家族支援とピアサポート	<ul style="list-style-type: none">・ 家族構成や相談できる場が少ない・ 家族会があっても現実的に参加が難しい・ 介護者の負担が大きく支援が不足・ 早期発見時の医療機関連携チームが必要

若年性認知症のご本人、 ご家族、支援者へ



障害者手帳や傷病手当など、
様々な“使える”制度について
情報をまとめた冊子を作成しています。

この冊子の解説動画は
当センターホームページで。

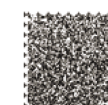
若年性認知症の方へ

ご本人とご家族のための制度とサービスの紹介



65歳未満で発症する認知症を「若年性認知症」といいます。
ご本人やご家族、地域や職場の方々に知っていただくとともに
必要なサービスや支援をご利用いただけるよう
このパンフレットを作成しました。

世田谷区



*Thank you for
watching*



ご視聴いただき
ありがとうございました

世田谷区認知症在宅生活サポートセンター